

平成30年 5月10日

学校教育計画(平成30年度～平成31年度)

学校名	生田東高等学校	課程・学科	全日制・普通
-----	---------	-------	--------

1 学校のミッション

全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に corres ponding ため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、自主自律の精神をもち、自己の人生を開拓していく知性と行動力を備えた人材の育成をめざし、思考力・判断力・表現力等の育成に取り組んできたが、今後はさらに、生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした不断の授業改善の実施等、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育活動の充実に取り組む。

また、通級による指導の導入校として、特別の教育課程の編成とそれに伴う指導の実践により、生徒の多様な教育的ニーズに即した、より適切な指導及び必要な支援に取り組む。

2 学校教育目標

校 訓 イクヒ生よ賢くあれ、イクヒ生よ強くあれ、イクヒ生よ正しくあれ

- 活かせる学力の育成と多様な学びの場の提供により、豊かな人間性や社会性を培う。
- 自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高める。
- 自主自律の精神と自己開拓力を育成する。
- 教職員がチーム一丸となり、教育活動に全力で取り組み、生徒一人ひとりの進路実現を目指す。

3 計画作成時点での課題

- 進学に関して、指定校推薦やAO入試に頼り、本来の希望や力を発揮できない生徒が多い。
- 補習・講習等により、生徒の実態に即した学習サポート体制を更に整えたい。
- 部活動活性化により、部活動加入率を50強%から65%としたい。
- 遅刻者が多く、学校生活や私生活の乱れの一因となっている。
- 事故・不祥事防止について、さらに研修を重ねていきたい。

4 2年間の目標と主な方策

	視点	2年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○「活かせる学力」の育成 ○多様な学びの場の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎知識を活用して主体的・協働的に学ぶ授業実践と、夏期講習や講習・補講の充実を図る。 ○大学入試改革に向けて、教育課程の充実・改善を図る。 ○教員相互の授業見学や意見交換の機会の充実を図る。 ○「通級による指導」の円滑な導入・実施と対象生徒へのニーズに応じた個別の指導を行う。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○部活動の活性化 ○人間性・社会性豊かな人づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○全職員が各部活動の現状を把握、共有してより多くの生徒が参加できる部活動を目指す。 ○SCなどの専門家や関係機関と連携した、きめ細かな生徒指導・支援に取り組む。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○進路発見と進路実現 	<ul style="list-style-type: none"> ○インターンシップ等を通じて職業理解を深め、広い視点から進路を考える指導を行う。 ○より適切な第一志望の選択能力を育成し、本来の進路希望を実現できる指導に努める。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ○地域教育力の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の中学校や大学と協働した教育活動を行う。 ○地域の行事や防災活動などに生徒が積極的に参加できるよう取り組む。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ○教育環境の整備 ○事故・不祥事ゼロの取組 	<ul style="list-style-type: none"> ○トイレや生徒状況に合わせて、通級指導教室に関する施設設備の教育環境の整備に努める。 ○各グループが主体となった事故・不祥事防止研修会を1回ずつ開催する。